Innovation Lab2021



表町商店街活性化ラボ

連携先:協同組合連合会岡山市表町商店街連盟

多角的な活性化施策の検証を実施

23名のメンバーは、表町商店街内の「そばら屋」という文具店の2階に拠点を設け、毎週商店街に集まり、商店街を肌で感じながら1年間の活動を行った。

利用客の減少している表町商店街の活性化に取り組むため、①現状分析と評価②広報活動・情報発信③活性化策の新規提案、の大きな3つのテーマのもとに6つのチームに分かれ活動を行った。

〔通行量調査チーム、アンケート調査チーム、若者向け最新飲食店マップチーム、訪日中国人向けSNS発信チーム、プロモーションショップ運営チーム、文化イベント開催チーム〕

商店街近隣ではマンションの完成や大学キャンパスの新設、芸術創造劇場の建設などが進められ、変化が起きている。まずは商店街の現状を知るため通行者と店主へのアンケート調査、通行者10,000人の属性調査を実施し現状分析を行った。10,000人の属性調査では商店街内8か所へ定点カメラを設置し、ビデオの分析を行った。これらの分析結果は報告書に取りまとめ商店街連盟へ提出された。

バーチャルトリップの流行に目を付けたチームは、中国版TikTokで中国語で商店街の魅力を発信する動画を配信。7,000ビューとフォロワー数1,000人超を記録し、中国人の日本への関心の高さがわかった。また、商店街内の路上でプロモーションショップを開催し、学生がピックアップした商品の販売と作成した店舗紹介のパンフレットを配布した。好調な売れ行きと宣伝効果で実際に店舗を訪れた方も確認でき、個人商店が多大な費用を掛けずにプロモーションをおこなうことが検証できた。そのほかにも商店街での子供向け学びのイベント実施など、多くのアイデアから活性化施策の検証が行われた。